

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 7年3月21日

事業所名 Atelierみるく首里

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			・学習と美術連携、また逆にスペースの区切りなど、利用者にとってより良いやり方が模索されていると感じる。 ・最初、勉強と美術が同じ机でやっていたので、勉強へ集中しづかったが、机を分けて離すようになってかなり改善されたと思う。	バリアフリーでスペースは十分にありますが、複数人が同室で別々の活動に取り組む場合には、ある程度のゾーニングが必要であるため、パーテーションなどをうまく活用し、個々の活動に集中しやすいように工夫していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	9			・利用者全員に目が届く配置数ではあると思う。たまに急なお休みが出た時に人数が少ない時がある。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		1	・施設内はバリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3		・全員が顔を合わせることが難しいので情報共有が今ひとつである。 ・定期的な研修や、利用者それぞれについて積極的な話し合いがなされている。	今年度から「Ecoleみるく」と合併し、倍の人数の職員となり、全員が一堂に会することが難しい状況になっていますが、職員全体への連絡事項が周知徹底できるように工夫し、努めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			・保護者の自由記述部分を参考に要望など取り入れるようにしたい。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			・来年度もっと見てもらえるように別の発信方法を取り入れていく。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	2	・那覇市の運営指導を2月に受けたので、意見を取り入れるよりよく改善する予定。	運営指導でご指導、ご提案いただいたこと等を参考に、更なる業務改善、サービスの質の向上に努めて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			・運営指導で研修計画を立てるようにアドバイスされたので、来年度は立てていきたい。	今年度は多数の研修を実施し、職員一人一人と資質向上に努めてまいりました。次年度は、年度初めに年間を通しての研修計画を立て、必須科目の研修にも抜けの無いよう、実施してまいりたいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			・保護者ともかなり丁寧に面談したり、共有できていると思う。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	1	・ここでは検査などしていないが、医療機関でアセスメントされたWISCやKABCなどの結果を持ってきてもらって参考にしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		・児発管が複数いるので、内容を検討し合い、より良い立案につなげている。 ・チームで立案話し合えるほど体制にゆとりはないと感じた。非常勤のスタッフにおいては、児童についてのわりと重要な事柄についても予め知る機会が極めて少なかった。メモのやりとりや伝言だけでなく、定例のミーティングには非常勤もきめ参加可能なスタッフは参加する必要があることを感じました。	今年度は「Ecoleみるく」との合併により、利用者の人数も倍に増え、また、職員も常勤、非常勤職員の人数が増えたため、全体で一同に会して情報共有する会議を毎週設定することが難しい状況となりました。次年度は、職員間の連携をスムーズし、情報共有に漏れがないように確認をとるなど工夫し、サービスに支障がないよう努めてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		・本人の希望を入れつつ、季節を考慮して制作プログラムを計画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1		・休日に法人内のイベントに誘う。長期休みには夏休みの宿題などのサポートをする。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			・子どもの状況に応じて交流プログラムに誘う。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2		・勤務時間がまちまちなので、LINEなどで伝言を活用。	毎回のレッスンの前後は活動内容や確認事項の伝達等を行い、支援に方針に関する打ち合わせは、定例ミーティングにて行い、職員間で意思疎通を図っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		・子供達と関わっていく中で、困ったことや相談がしやすい。美術の会議の内容が知りたい。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			・計画に沿っての記述を、職員皆ができるようにしていきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	2	・医療的ケアの必要な児は現在いない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2			こちらの事業所を利用する前の児発支援事業所から、利用者様の許可を得て、情報を共有していただいております。スムーズな移行に繋げていけるよう努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	1		・人による。	必要であれば、利用者様の許可を得て、情報共有させていただきますように努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8		1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4	1		児発管が連絡協議会に積極的に参加するように努めています。職員への伝達不足ですみません。情報共有に努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2	1		ペアレント・トレーニングではありませんが、今年度は、保護者と職員が合同で受講する発達講座を年間8回実施し、多くの保護者の方々が参加くださいました。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	2	・コロナ感染症の前は多少活動していたが、その後復活していない。	保護者会の開催はありませんが、今年度は保護者が対面で参加できる勉強会や発達講座を毎月開催していましたので、保護者同士の交流も多少図れるようになっていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1		・苦情はないが要望や意見は放置せずに、参考にしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	2	・来年度は発信していく予定。	行事予定などは、SNSを活用し案内しています。活動報告に関しては、個人情報の保護に留意しながら、より良い発信方法について現在検討中です。
	35	個人情報に十分注意している	9			・個人情報の取り決めの内容を改訂予定。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1		・コンサートや展示会、地元のイベントへの参加など、地域と積極的に関わっていると感じる。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3			アレルギー症状のある方への飲食の提供は基本的に行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	1		これまでヒヤリハット事例はあまり発生していないのですが、今後は小さな案件でもできるだけ拾い上げ、大きな事故や怪我を未然に防げるように努め、職員にも周知徹底してまいります。